



「菊花園（屏風）」 楠 瓊州 昭和 24 年 (1949)

尾道市立美術館 コレクション展

没後 60 年 楠瓊州を中心に

平成 28 年 10 月 8 日 | 土 | ▶ 11 月 6 日 | 日 |

休館日 | 月曜日（祝日は開館） | 開館時間 | 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
 観覧料 | 一般 300 円 / 高・大生 200 円 / 中学生以下無料
 ※団体 20 名以上は各 50 円引き
 ※70 歳以上・各種手帳をお持ちの方は、証明できるものを提示により無料

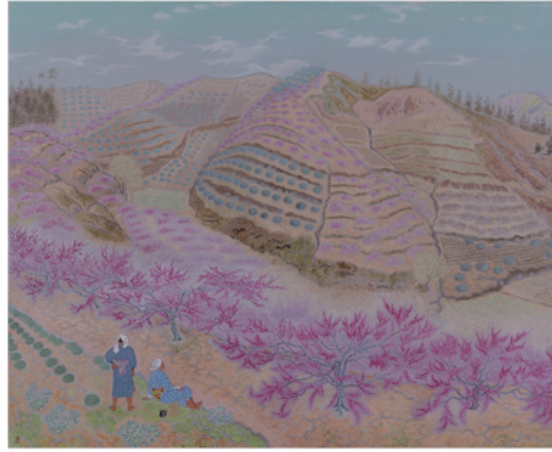
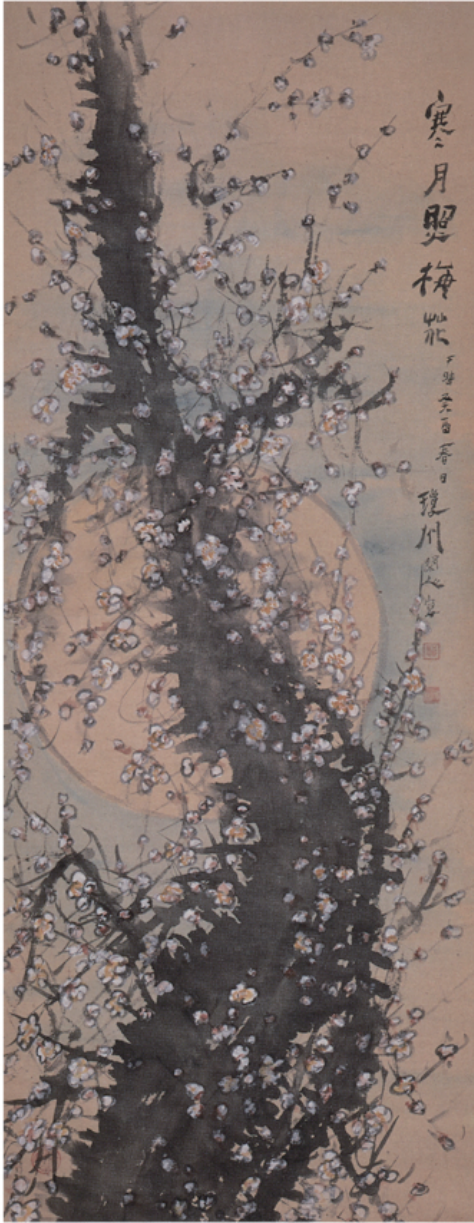
ONOMICHI CITY MUSEUM OF ART 尾道市立美術館
 〒772-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 TEL.0848-23-2281
<http://www7.city.onomichi.hiroshima.jp/>



尾道市立美術館 コレクション展

没後 60 年
楠瓊州を中心に

10月8日(土)
11月6日(日)



- 1 「寒月照梅図」 楠 瓊州 昭和 8 年 (1933)
- 2 「桃花旭々」 森谷 南人子 昭和 15 年 (1940)
- 3 「尾道風景」 小林 和作 昭和 9 年 (1934)
- 4 「月とサーカス」 早川 義孝 平成 18 年 (2006)
- 5 「ピザンツへのオマージュ」 藤森 兼明 平成 7 年 (1995)

4 新収蔵作品

5 新収蔵作品

平成 28 年 (2016) は、尾道ゆかりの文人作家 楠瓊州の没後 60 年に当たります。

楠瓊州は、明治 25 年 (1892)、尾道に生まれ、高等小学校を卒業後、京都の南画家 服部五老の内弟子になって南画を学びました。富岡鉄斎に憧れて、その画風に大きな感化を受けたほか浦上玉堂・田能村竹田ら江戸期の文人に深く傾倒したと伝えられています。

瓊州は、自由奔放に南画を描き、洗うがごとき赤貧のうちに生涯を終えた孤高の文人であり、没後評価が高まった画家でもあります。

本展は、瓊州の代表作である「菊花図(屏風)」をはじめとする所蔵品の展覧を通じて、没後 60 年を節目に、今一度その画業を顕彰しようとするものです。

その他、小林和作、森谷南人子など尾道を代表する作家の優品を展示すると共に、今年度新たに所蔵品に加わった尾道ゆかりの作品をご紹介します。

関連行事 |

● 夜間開館

「第 13 回尾道灯りまつり」にあわせた夜間開館です。当館もぼんぼりの設置、館のライトアップをします。ぜひこの機会に、夜の美術館をお楽しみください。

【日時】10月8日(土) 午後8時まで開館
(入館は午後7時半まで)

【協賛】尾道灯りまつり実行委員会

● ギャラリー・トーク ※当館学芸員が担当

【日時】10月23日(日)午後2時~(40分程度)

【対象】一般 参加無料・申込み不要。
(展覧会観覧料が必要です)

次回展覧会 |

北海道の大地から 神田日勝展
11月19日(土)~1月15日(日)

ご利用案内 |

- JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。(ロープウェイのりばで「往復乗車券+観覧券」のお得なセット販売をご利用ください。) なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。
- お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」をご利用くださいましたら、入館時に駐車券提示により1名に限り100円割引します。
- JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。

尾道市立美術館
公式 twitter
@bijutsul
随時更新中

QRコード(当館HP)

